

# オーストラリアの留学生誘致政策について

自治体国際化協会シドニー事務所

所長補佐 島田菜々子

## 1. 留学生受入状況及び地域定着の現状

### (1) 留学生受入状況

豪州における留学生受入数は、連邦政府教育訓練省の統計によると、米国、英国に次いで世界で3番目に多く、2017年3月現在、48万92人である。アジア圏からの留学生が多く、留学生の出身国上位は、中国（14万3,848人、約29.9%）、インド（5万4,438人、約11.3%）、マレーシア（2万1,239人、約4.4%）、ベトナム（1万9,708人、約4.1%）、ネパール（1万9,379人、約4.03%）である。豪州への留学生数は毎年増加傾向にあり、2016年から2017年にかけては、約15%増加しており今後も増加が見込まれている。

一方、教育機関における留学生登録数は52万737件となっており、これは複数の教育機関や学部に登録している者が存在するためである。うち大学、大学院等の高等教育への留学生登録数は、27万9,833件で全体の54%にあたる。高等教育への登録数を州別にみると豪州最大の都市シドニーを有するニューサウスウェールズ（NSW）州が最多の9万8,882件、第二の都市メルボルンを有するビクトリア州が9万6,847件となりこの二つの州で全体の約70%を占めている（表1参照）。

### (2) 地域定着状況

連邦政府機関 Australia Education International が2004年から2008年までの間に高等教育機関および職業教育訓練校を卒業した留学生を対象に2009年に卒業後の進路に関する調査を行い、3,937名が回答した。

この調査によると、高等教育機関を卒業した留学生の78%が就職、6%が就学していると回答し、国内の学生とほぼ同じ就職・就学率であることが判明した（表2参照）。

また、高等教育機関を卒業した留学生の48%（約1,890人）が引き続き豪州で生活しており、そのうち73%（1,379名）が就職、8%が就学（151名）、13%（245名）が求職中、5%（95名）がその他の状態にあると回答した（表3参照）。このうち、就職したと回答した留学生の82%が学位と同じ、または関連した職業に就いていると回答をした。

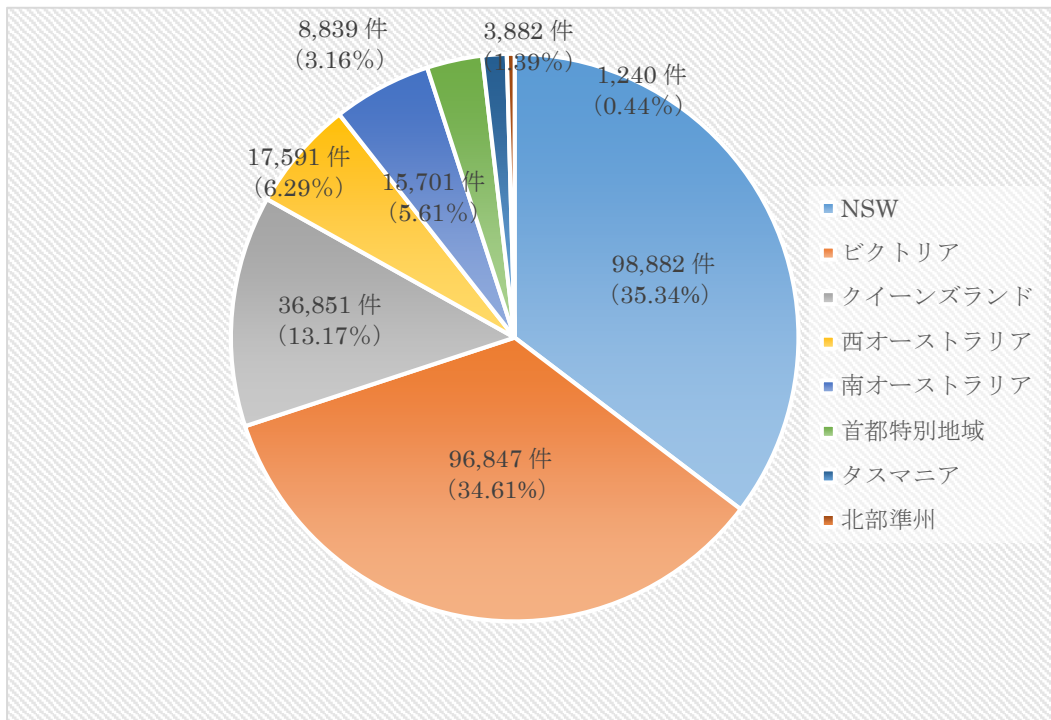


表1 州別高等教育登録数 (出典：豪州連邦政府教育訓練省「留学生登録データ 2017」  
[https://internationaleducation.gov.au/research/International-Student-Data/Documents/INTERNATIONAL%20STUDENT%20DATA/2017/2017Mar\\_0712.pdf](https://internationaleducation.gov.au/research/International-Student-Data/Documents/INTERNATIONAL%20STUDENT%20DATA/2017/2017Mar_0712.pdf))

	Higher Education	
	International	Domestic
Studying and not working	6%	6%
Working (or accepted job offer) and studying	17%	22%
Working (or accepted job offer) and not studying	61%	59%
Not working but seeking employment	11%	6%
Not working, studying or seeking employment	6%	7%

表2 豪州人学生 (Domestic) と留学生(International)の就職率・就学率 (出典：豪州連邦政府 Education International (2010) “International graduate outcomes and employer perceptions”  
[https://internationaleducation.gov.au/News/Latest-News/Documents/2010\\_International\\_Graduate\\_Outcomes\\_pdf.pdf](https://internationaleducation.gov.au/News/Latest-News/Documents/2010_International_Graduate_Outcomes_pdf.pdf))

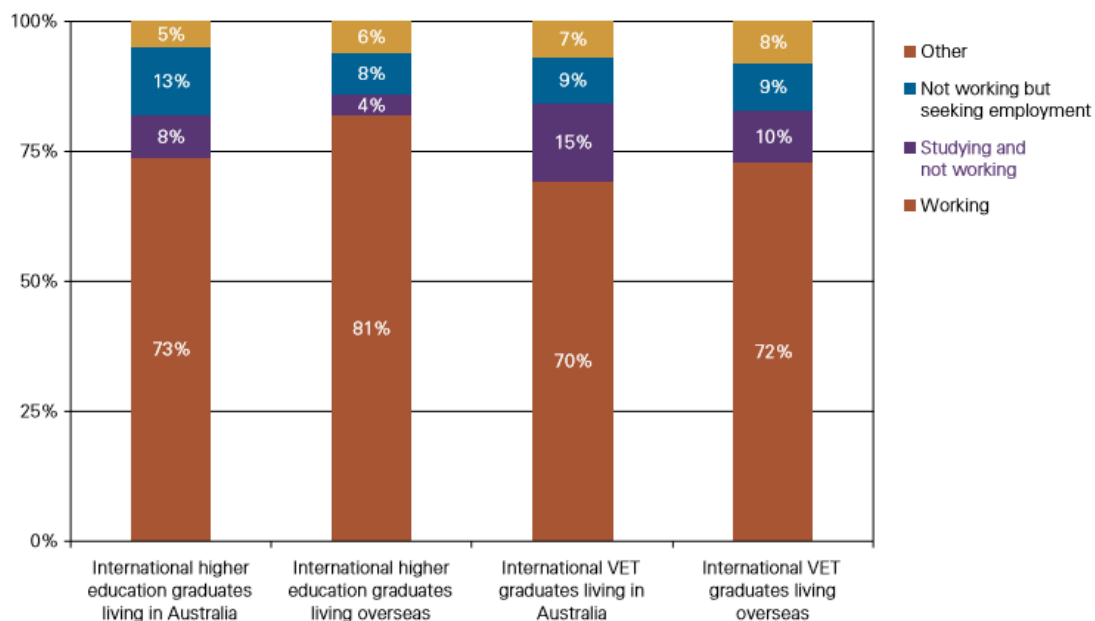


表3 卒業後の居住別、就職・就学率（左から卒業後①豪州に引き続き居住する留学生②豪州外に居住する留学生③豪州に引き続き居住する職業教育訓練校の留学生④豪州外に居住する職業訓練校の留学生）（出典：豪州連邦政府 Education International (2010) “International graduate outcomes and employer perceptions” ([https://internationaleducation.gov.au/News/Latest-News/Documents/2010\\_International\\_Graduate\\_Outcomes\\_pdf.pdf](https://internationaleducation.gov.au/News/Latest-News/Documents/2010_International_Graduate_Outcomes_pdf.pdf)))

## 2. 国による留学生誘致・地域定着政策及びその課題

### (1) 連邦政府による政策

#### ① 「国際教育のための国家戦略2025」の策定

国際教育に関する初の国家戦略。オーストラリアが国際教育の分野を世界的に先導しつづけるために2016年から10年間の方針を定めている。

[https://nsie.education.gov.au/sites/nsie/files/docs/national\\_strategy\\_for\\_international\\_education\\_2025.pdf](https://nsie.education.gov.au/sites/nsie/files/docs/national_strategy_for_international_education_2025.pdf)

#### ② ビザの発給

豪州において定められた学位の取得後、留学生に対して、最大4年間、就労もしくは就学することが可能な Temporary Graduate(Post-study work)ビザ（サブクラス485）を発給。移民国境警備局によると有資格者の80～90%が当ビザを申請している。

③ 奨学金・助成金制度 (Australia Awards)

外務貿易省、教育訓練省および豪州国際農業リサーチセンターによる奨学金および研究助成金制度。各プログラムにより対象や支給要件が異なる。

<http://australiaawards.gov.au/Pages/default.aspx>

④ 進路制度 (Pathway System)

希望の大学や学部に入ることができなかつた人が、留学希望者向け英語集中講義 (ELICOS) や一年間の集中基礎学問講座 (Foundation Studies) で学習することで、高等教育機関に入る準備をすることができる制度。2014 年には高等教育機関への留学生の約 46%がこの制度を利用している。

⑤ イベントの開催による情報発信

- オーストラリア留学フェアの開催 (日本、中国、マレーシア、ロシアなど)  
日本では豪州大使館主催で2016年10月に東京で開催され、豪州の教育機関約60校が集結した。ビザ情報や奨学金情報の紹介、個別相談会を行った。
- 教育エージェント向けオーストラリア留学説明会の開催(タイ)  
連邦政府豪州貿易投資委員会 (Australian Trade and Investment Commission (Austrade)) バンコク事務所により開催され、教育エージェント向けに学校情報、ビザ情報をはじめ豪州への留学情報についての説明を行う。

⑥ インターネットによる情報発信

- 留学生向け情報サイト「Study in Australia」(<https://www.studyinaustralia.gov.au/>)  
Austradeによって運営されている。英語、日本語を含む13言語にて、学費やビザ、物価、住宅情報や留学生支援制度の情報提供を行っている。また、申請可能な奨学金を検索することもできる(図1参照)。
- ウェブサイト「Quality Indicator for Learning and Teaching」(<https://www.qilt.edu.au/>)  
豪州への留学を検討している人が、希望大学や希望学科などの個別のニーズに合わせて各高等教育機関のサポート体制や就職率等を比較することができるウェブサイト (図2参照)。連邦政府教育訓練省の出資により、社会リサーチセンターが運営を行う。ウェブサイト内の統計データは社会リサーチセンターが留学生を対象に行う調査結果を元に作成されている。

Keyword (to search within scholarship names)

Organisation name (choose all that apply): American Association of University, American Australian Association, American Orchid Society, Asia Pacific International College, Asia Development Institute, etc.

Field of education (choose all that apply): Agriculture, Environmental and Rel, Architecture and Urban Environmen, Creative Arts, Education, etc.

Scholarship location (choose all that apply): Australian Capital Territory, New South Wales, Northern Territory, Queensland, etc.

Showing 1 - 20 of 741 results

Scholarship Name	Organisation Name	Duration	Annual Value	Application Closing Date
A E Ringwood Supplementary Scholarship	Australian National University	3.0 years	\$8,000	No application required
A F Davies Prize	University of Melbourne	1.0 years	\$250	Early November
A G McCready Memorial Scholarship	University of Queensland	1.0 years	\$2,183	Dates not set
A G Whitlam Graduate Merit Scholarship	University of Melbourne	2.0 years	\$0	No application required
A G Whitlam International Undergraduate Merit Scholarship	University of Melbourne	3.0 years	\$0	No application required
A S & J W Jorgensen Scholarship	Avondale College of Higher Education	1.0 years	\$1,500	31 January
AUWJ Educational Foundation International Fellowship	American Association of University Women	1.0 years	\$0	1 December
Academic Achievement Awards (AAA)	UNSW Australia	1.0 years	\$4,000	31 October

図1 「Study in Australia」内、奨学金検索ページ

Choose a university or higher education institution that is best for you.

Compare undergraduate and postgraduate coursework student experience and graduate employment.

Home Study Areas Institutions My Shortlist 5

Filter by: Course level (Undergraduate, Postgraduate)

Student Experience: Overall quality of educational experience, Teaching quality, Learner engagement, Learning resources, Student support, Skills development

Graduate Satisfaction: Overall satisfaction, Teaching scale, Skills scale

Graduate Employment: Full-time employment, Overall employment, Full-time study, Median salary

Student Experience - Undergraduate

Overall quality of educational experience

Institution	Overall quality of educational experience (%)
The Australian College of Physical Education (Teacher Education)	~65%
Avondale College of Higher Education (Teacher Education)	~85%
Charles Sturt University (Teacher Education)	~75%
TAFE NSW (Teacher Education)	~80%
National average	~75%

図2 「Quality Indicator for Learning and Teaching」

(例として、NSW州内の教育学科を複数選択し各学校の満足度をリスト化したもの。)

⑦ 留学生に対する調査

2010年以降、連邦政府教育訓練省は、2年ごとに全校種を対象に学校の教育の

質やサポート体制、生活などに関する満足度を調査し、留学生施策に反映している。2016年には6万5,000人参加。過去調査結果一覧は教育訓練省ホームページに掲載。

<https://internationaleducation.gov.au/research/researchpapers/pages/research%20papers.aspx>

⑧ 北京・上海でのキャリアフェアの開催

Austradeが在上海豪州商工会議所と共催し、北京・上海においてキャリアフェアを開催。このイベントは、中国人の卒業生および現役学生を対象にしており、中国に拠点を持つ中国、豪州の多様な企業と会う機会を提供する。また豪州政府による卒業後の就職支援に関する説明会や、キャリアアドバイス、面接対策、就職に求められる能力などに関するセミナーも開かれる。

(2) 連邦政府の今後の課題

① 新たな市場への個別アプローチ

今後、国内教育が成熟し、留学生が増えることが見込まれる国々（アフリカ・ラテンアメリカ等）で留学生誘致を積極的に行うこと。また、現在は単一の誘致策を取っているが、今後は各国のニーズを踏まえたアプローチを行っていくこと。

② 留學生活の質の向上

留學先として人気を得るために留學生活の質をさらに向上させる。現在抱える住宅価格の高騰や住宅供給の不足を解決し、留学生に安全で良価格の住宅を提供、また、留学生が大学や地域から孤立しないようサポート体制の強化や地域社会の理解を得る活動を行う。

③ 教育の質の高さの周知

留學生教育の質の高さや卒業後の就業率の高さを留學希望者向けにさらにアピールすること。既存の Quality Indicator for Learning and Teaching サイトの充実や更新をはじめ、インターネットを通じた情報の発信をさらに行っていく。

④ 就職支援

就職に必要な知識やスキルを留学生に提供するため、教育機関と企業の対話の機会を促進すること。就職サポートを行う同窓会組織と協力すること。企業に対し留学生を雇用することのメリットを伝えること。

3. 自治体による留学生誘致・地域定着政策及びその課題

オーストラリアでは、教育に関する具体的な権限は州政府が有しているため、州政府レベルでの取組、特に留学生が最も多いNSW州について調査を行った。

## (1) NSW州政府による留学生誘致・地域定着政策

### ① Study NSW の設立

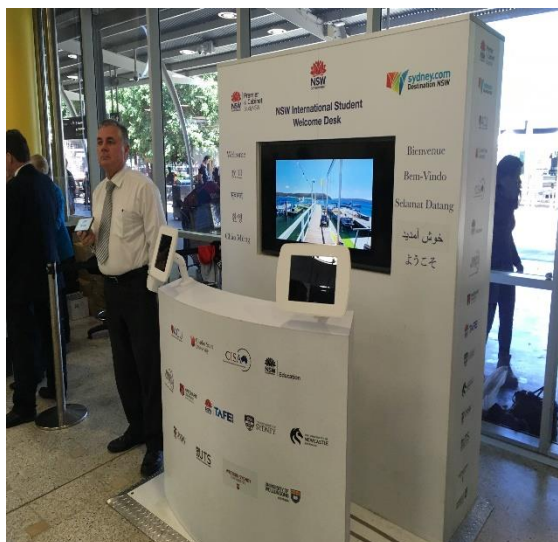
NSW 州内閣府により、シドニーをはじめとする州内地域における留学生数の増加、留学生の NSW 州での学生生活の質の向上、地域社会への貢献を目的に、2014 年に設立された。Study NSW 国際教育戦略の下、マーケティング、プロモーション、調査、政策提言、戦略やプログラムの実施・評価等を行う。

### ② 留学生向け情報サイト「Study Sydney」(<http://www.study.sydney/>)

学校、ビザ、物価、住居、公共交通機関、医療保険、入学後の支援制度、就職、インターンシップ、留学生対象イベント等 NSW 州に留学した（および留学を希望する）学生やその家族が必要となる情報を集約したウェブサイト。英語・日本語のほか、6 言語に対応した多言語サイトとなっている。また、サイト開設に合わせ、フェイスブック、ツイッター、インスタグラムも開設し、さまざまな媒体から PR できる体制を整えている。

### ③ 空港歓迎デスク

Study NSW は、州内教育機関と連携し、2015 年よりシドニー国際空港到着ゲート出口に歓迎デスクを設け、豪州に到着した留学生を対象に住宅や交通機関等の情報提供やアドバイスを無料で行っている。デスクのスタッフは、職業体験型教育プログラムに参加している学生ボランティア（留学生を含む）であり、プログラム修了者には NSW 州政府より修了証が授与される。



空港歓迎デスクの様子

#### ④ パートナープロジェクトの実施

教育機関、その他組織より留学生向けプロジェクトの公募を行い、選考で選ばれたプロジェクトには、州政府より年 110 万ドルを上限に補助金として支給し実施協力を行う。2016 年度に補助金対象となった主なプロジェクトは、以下のとおり。

- オーストラリア留学生協会が、留学生の住居の質と費用の改善のための政策を発展させるための計画案を作成した。
- 地域開発団体「Regional Development Australia Hunter」が、NSW 州ハンター地域に留学生を呼び込むためにウェブサイトの内容の充実やマーケティンググッズの改良、新規イベントの実施等を行った。
- NSW 州への留学生誘致を目的に、留学生向け英語教育セクターの代表組織 English Australia が、ギネスブックに登録された世界最大の英語レッスンイベントをボンダイビーチで開催した。
- 全豪進路諮問サービス協会 NSW 支部が、州内 7 大学と連携し、留学生の雇用可能性を高めることを目的としたフォーラムを開催した。フォーラムでは、職業体験や求人情報や人脈形成の機会を提供し、1,000 人以上の留学生が参加をした。
- 学生の起業スキルや雇用の見通しを高めるため、シドニー工科大学が州内 7 大学から参加した 210 名を対象に 4 日間の“Interchange”（交流）プログラムを実施した。プログラム中には、産業界や企業からのゲストスピーカーを迎え、メンター（助言者）とともにグループワークを行った。
- 教育関連企業 Intersective が、公立、私立教育機関の学生 300 名を対象にした職業体験型教育プログラムを提供した。学生は、チームを作り、政府や企業、NGO から提供されたプロジェクトにオンラインプラットフォーム「Project Learning」を使って取り組む。このプロジェクトでは、特に、消費者調査、商品調査、ウェブサイト、ソーシャルメディア分析などに焦点を当てた。

#### (2) NSW 州における今後の課題

- 物価や住宅価格の上昇問題を解決し NSW 州が人気の留学先としてあり続けること。
- 企業・教育機関とのさらなる連携。
- 留学生が卒業後に就労する権利（ビザ）を有していることや留学生を雇用することの意義を企業へ周知。



【参考資料】

・ 連邦政府教育省 (2017) 「留学生データ2017年3月」

<https://internationaleducation.gov.au/research/International-Student-Data/Pages/default.aspx>

・ Deloitte Access Economics (2015) , “Growth and opportunity in Australian International Education A report prepared for Austrade”

・ NSW 州内閣府 Study NSW (2016 年), “Study NSW International Education Strategy”

<http://www.study.sydney/assets/study-sydney/Uploads/StudyNSW-International-Education-Strategy-Web.pdf>